

令和2年2月25日

保護者の皆様へ

都立城南特別支援学校長
山崎 久美

マイコプラズマ感染症の発症について（お知らせ）

先週金曜日、小学部児童1名（環七コース）がマイコプラズマ感染症に罹患したとの報告を受けましたのでお知らせいたします。

下記のとおり、感染予防や健康管理に留意し、適切な対応と、万が一マイコプラズマ感染症と診断された場合は学校への御連絡をよろしくお願いいたします。医師の登校許可意見書は必須ではありませんが、出席停止の判断は登校許可意見書をもとに行いますので、提出が無い場合は、欠席扱いとなります。

記

1 マイコプラズマ感染症とは

咳を主症状とし、学童期以降の細菌性肺炎としては最も多いです。夏から秋にかけて多く、家族内感染や再感染も多く見られます。5歳以上で10～15歳頃に好発しますが、成人も罹患することがあります。

【症状】咳、発熱、頭痛などの風邪症状がゆっくり進行し、特に咳は徐々に激しくなります。しつこい咳は3～4週間持続する場合があります。中耳炎・鼓膜炎や発疹を伴うこともあり、重症例では呼吸困難になることもあります。

【感染経路】飛沫感染、接触感染

【潜伏期間】主に2～3週間（1～4週間）

2 マイコプラズマ感染症の予防について

インフルエンザや風邪などの感染症と同様、手洗い・うがいを十分にし、咳をしている人には近づかないように気を付けてください。

〔お問い合わせ先〕

都立城南特別支援学校

副校長 西巻 隆之

養護教諭 町井 愛莉佳

養護教諭 高柳 恵里子

電話 03-3734-6308

